

7/2 24.7

徹底追及 統一協会

統一協会（世界平和統一家庭連合）の信者らが5月月下旬で、各地の市議会などに相次いで「陳情」「要望書」などの文書を送付・提出しています。全国靈商法対策弁護士連絡会（全国弁連）を非難し、各議会に「統一協会との関係断絶運動をしなよ」求めています。各地の個人名も挙げられてますが、文面はは迷回り。ある陳情者は取材で、「統一協会からの要請で陳情した」と語りました。

（統一協会取材班）

会員よりの被陳情について
「少なくとも現在まで、正体を隠した違法な反動活動や靈商法をしておらず、教説被説や二世被説の具体的な根拠も示されていない」と主張します。

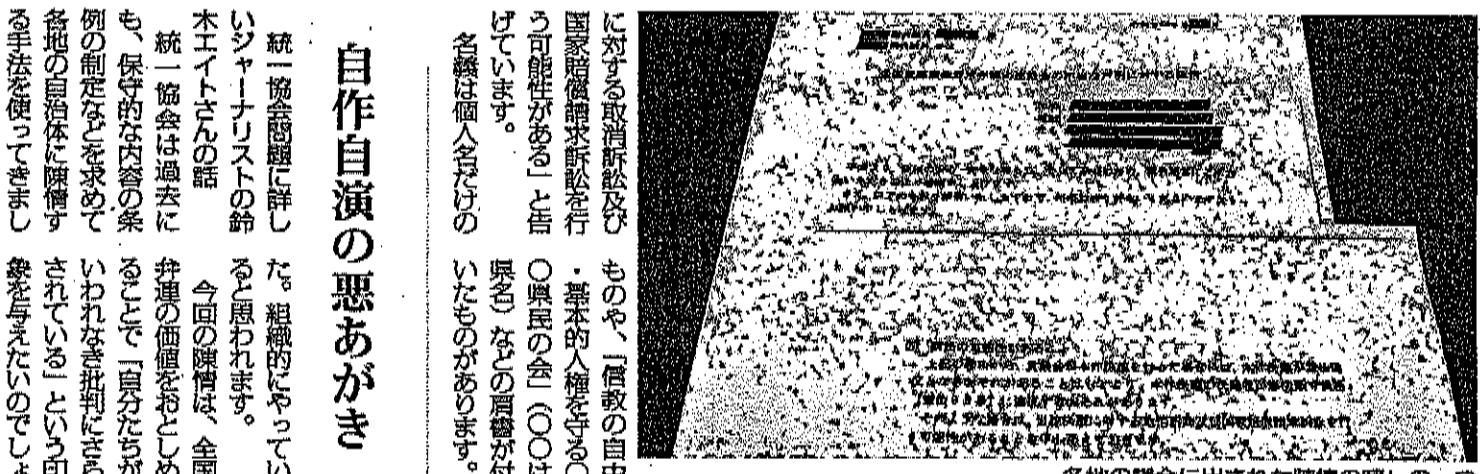
全国弁連を非難

この文書は、一様に「全國靈商法对策弁護士連絡会の不適な声明に対する陳情」なる題じています。「不当な声明」とは、全国弁連が3月に公表した「政治家の皆様へ統一教会との關係断絶を求める声明」を指す。その上で、各議会へも陳情しています。

「陳情」や「要望書」は、統一協会が「統一協会取材班」によって提出されました。

「関係断絶 決議するな」

信者ら各議会に陳情



各地の議会に出された陳情の写しの一つ

各地で、個別に陳情した体裁になっています。

「協会から依頼」

しかし、関西地方のある自治体で陳情した人物は本紙の取材に、自身が統一協会の現役信者だと認めた上で、「教会から『関係断絶を求める動きがあるから、居住地域の役所に陳情に行ってほしい』と言われた」と語りました。

文面についても「教会が書いてくれた。自分は法律などに疎いので、できた文面に目を通し、(役所)持つて行った」と説明しました。

東北地方の自治体における取消訴訟及び国家賠償請求訴訟を行った人物も、「宗教の自由の可憲性がある」と話すことがあります。(図)などの陳情が付けています。

名義は個人名だけのいたものがあります。

自作自演の悪あがき

（文）

各地の議会に対しても、「面倒くさいに团体

統一協会問題に詳しだ。組織的やっていいシャーナリストの紹介も思われます。木立さんのお話 今回の陳情は、全国

統一協会は過去と弁連の価値をおとしめしょ。大した効果もない、

も、保守的な内容の条例の制定などを求め、いわれなき批判をされ、自作自演の悪あがきだといえます。

この「陳情」や「要望書」は、統一協会の陳情に対する法的措置として、全国の議会へも提出されました。